



Client Matter Codes と Forced Authorization Codes の一括処理

Forced Authorization Codes (FAC) と Client Matter Codes (CMC) を使用すると、コールへのアクセスとアカウントリングを管理できます。CMC は、課金可能なクライアントに対するコール アカウントリングと課金を支援し、FAC は特定のユーザが発信できるコールのタイプを規定します。

CMC を使用すると、コールが特定のクライアント マターに関連していることを示すコードを入力するように強制されます。CMC は、コール アカウントリングや課金を目的として、顧客や学生、またはその他の個人に対して割り当てることができます。FAC 機能を使用すると、コールを完了する前に有効な認証コードを入力するように強制されます。

CMC 機能と FAC 機能を使用するには、ルート パターンを変更し、各ルート パターンに対する FAC や CMC の有効化または無効化を反映するようにダイヤルプラン ドキュメントを更新する必要があります。

この章は、次の内容で構成されています。

- [CMC および FAC の設定チェックリスト \(P.8-3\)](#)
- [BAT の重要な考慮事項 \(P.8-4\)](#)
- [BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 \(P.8-5\)](#)
- [テキスト エディタを使用した Client Matter Codes および Forced Authorization Codes の CSV データ ファイルの作成 \(P.8-7\)](#)

- 既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集 (P.8-8)
- コードの設定の削除 (P.8-10)
- CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値 (P.8-14)
- BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新 (P.8-16)

CMC および FAC の設定チェックリスト

表 8-1 は、BAT を使用して CMC と FAC を実装する手順を示しています。

表 8-1 Cisco CMC および FAC の設定チェックリスト

設定手順	関連する手順とトピック
ステップ 1 BAT に関する重要情報、および CMC 機能と FAC 機能の概要を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT の重要な考慮事項 (P.8-4) Cisco CallManager 機能およびサービスガイド
ステップ 2 CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成し、CMC と FAC の設定情報を入力します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.8-5) テキスト エディタを使用した Client Matter Codes および Forced Authorization Codes の CSV データ ファイルの作成 (P.8-7) CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値 (P.8-14)
ステップ 3 Cisco CallManager データベースを更新するために CSV ファイルを BAT に挿入します。	<ul style="list-style-type: none"> BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新 (P.8-16) Cisco CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定 (P.8-18)
ステップ 4 Cisco CallManager Administration でルートパターンを追加または更新して、FAC または CMC を有効にします。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco CallManager アドミニストレーションガイド Cisco CallManager 機能およびサービスガイド
ステップ 5 ダイヤル プラン ドキュメントを更新するか、BAT CSV ファイルのプリントアウトをダイヤル プラン ドキュメントとともに保管します。	ダイヤル プラン ドキュメントを参照
ステップ 6 ユーザに対して、コードなどの必要な情報をすべて提供し、機能の内容を説明します。	Cisco CallManager 機能およびサービスガイド

BAT の重要な考慮事項

BAT を使用して CMC または FAC を設定する前に、次の情報を確認します。

- CMC と FAC で別々の CSV ファイルを作成します。1 つの CSV ファイルにこの 2 つの機能を混在させないでください。
- CMC または FAC の設定を初めて追加する場合は、BAT.xlt を使用して CSV ファイルを作成するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- CMC または FAC の設定を更新、削除、または追加する（初めての追加ではない）場合は、既存の CSV ファイルを編集するか、カスタムのテキストベース CSV ファイルを作成することができます。
- ファイルおよびスプレッドシートでは、1 行に 2 つ以上のコード（およびそれに対応する設定値）を入力しないでください。各コード（およびそれに対応する設定値）に 1 行を指定します。たとえば、FAC 用のコードを入力する場合は、次の形式になります。

(Authorization Code, Authorization Code Name, Authorization Level)

1234,John Smith,20

1235,Lisa Mendez,10

5551,Debbie Dunn,30

- 既存の CSV ファイルで新規コードの追加やコードの更新を行う場合は、必要な情報をすべて入力してください。新規コードを追加する場合は、すべての必須フィールド（たとえば、Forced Authorization Code、Authorization Code Name、Authorization Level、Client Matter Code など）を入力する必要があります。手順で特定のエントリが必須として指定されている場合は、ファイルにその情報を指定する必要があります。
- ファイルから情報を削除して情報をブランクにしても、その情報は Cisco CallManager データベースから削除されません。つまり、ブランクの値ではデータベース内の既存の値は上書きされません。データベース内の既存の値は、値を更新すると上書きされます。
- パブリッシュ データベース サーバで、BAT は、C:\BATFiles\CMC\Insert と C:\BATFiles\FAC\Insert のように、CMC と FAC に個別のディレクトリを指定します。該当する CSV ファイルを正しいディレクトリにコピーするようにしてください。

- CSV ファイルは、BAT が特定の操作用に指定するディレクトリに保存する必要があります。たとえば、認証コードの設定を削除する場合は、CSV ファイルをパブリッシャ データベース サーバの C:\BATFiles\FAC>Delete にコピーする必要があります。
- CSV ファイルを作成または変更する際には、P.8-16 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」で説明されているように、必ずその CSV ファイルを BAT に挿入する必要があります。

BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成

BAT.xlt を使用して CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** BAT.xlt ファイルはパブリッシャ データベース サーバにありますが、通常、パブリッシャ データベース サーバには Microsoft Excel がインストールされていません。その場合は、パブリッシャ データベース サーバからこのファイルをコピーして、Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンに移動する必要があります。
- ステップ 2** パブリッシャ データベース サーバで、C:\CiscoWebs\BAT\ExcelTemplate を参照します。
- ステップ 3** BAT.xlt を Microsoft Excel がインストールされているローカルマシンにコピーします。
- ステップ 4** Microsoft Excel で BAT.xlt を開きます。



ヒント

個別に 2 つの CSV ファイル（CMC 用と FAC 用の CSV ファイル）を作成する必要があることに注意してください。

■ BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成

ステップ 5 次のタブのいずれかをクリックします。

- **Insert CMC** : CMC 用の CSV ファイルを作成する場合
- **Insert FAC** : FAC 用の CSV ファイルを作成する場合

ステップ 6 表 8-2 に従って、各カラムに CMC または FAC の設定値を入力します。

ステップ 7 ステップ 6 を繰り返し、すべてのコードを入力します。

ステップ 8 Excel スプレッドシート形式を CSV ファイルに変換するために、**Export to BAT Format** をクリックします。

CSV ファイルが自動的にローカル マシンの C:\XlsDatafiles に保存されます。別のロケーションを選択するには、**Browse** をクリックします。

ステップ 9 CSV ファイルをパブリッシャ データベース サーバの次のディレクトリにコピーします。

- CMC の場合 : C:\BATFiles\CMC\Insert
- FAC の場合 : C:\BATFiles\FAC\Insert

ステップ 10 CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、P.8-16 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」を参照してください。

テキスト エディタを使用した Client Matter Codes および Forced Authorization Codes の CSV データ ファイルの作成

値がコンマで区切られた ASCII テキストを複数行使用して、コンマ区切り値 (CSV) データ ファイルを作成することができます。コンマ区切り値 (CSV) ファイルでは、テキスト情報は表形式で与えられます。Client Matter Codes と Forced Authorization Codes のテキストベースの CSV データ ファイルの詳細については、[P.A-34 の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes のテキストベースのカスタム CSV ファイルの作成」](#) を参照してください。

既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集

既存のコードを更新する場合は、Notepad で既存の CSV ファイルを手動で更新するか、または Notepad で新規のファイルを作成します。

次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 以前にコードを挿入した既存の CSV ファイルを編集するには、パブリッシュデータベース サーバの次のディレクトリを参照します。

- CMC の場合 : **C:\BATFiles\CMC\Insert**
- FAC の場合 : **C:\BATFiles\FAC\Insert**

ステップ 2 Notepad で既存の CSV ファイルを開いて編集します。表 8-2 のテキストベースの表現を使用して、既存の設定の削除、新規コードの追加、または既存の設定の更新を行います。

CMC 用 CSV ファイルを更新する場合は、たとえば、5555,Acme Toys のように入力することができます。ここで、5555 は必須の Client Matter Code、Acme Toys は Description にそれぞれ相当します。

FAC 用 CSV ファイルを更新する場合は、たとえば、1234,John Smith,20 のように入力することができます。ここで、1234 は Forced Authorization Code、John Smith は Authorization Code Name、20 は Authorization Level にそれぞれ相当します。



注意

新規コードの追加やコードの更新を行う場合は、必要な情報をすべて入力してください。既存のレコードでは、任意の部分を変更できますが、認証に必要な FAC や CMC などには必ず含めなければなりません。情報を削除したり空白にしたりしても、その情報はデータベースから削除されません。データベース内の既存の値は、空白の値では上書きされませんが、前述の例にある値を Acme Toys, Inc. や John L. Smith などに更新すると上書きされます。

ステップ 3 CSV ファイルをパブリッシャ データベース サーバの次のディレクトリにコピーします。

- CMC の追加または更新の場合：**C:\BATFiles\CMC\Insert**
- CMC の削除の場合：**C:\BATFiles\CMC\Delete**
- FAC の追加または更新の場合：**C:\BATFiles\FAC\Insert**
- FAC の削除の場合：**C:\BATFiles\FAC\Delete**

ステップ 4 CSV ファイルを BAT に追加します。CSV ファイルを BAT に挿入する方法については、[P.8-16](#) の「[BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新](#)」を参照してください。

コードの設定の削除

システムからコードを削除するには、削除対象のコードが含まれるカスタムファイルを使用します。以前に認証コードを挿入または更新したカスタムファイルを編集するか、または、新規の CSV ファイルを作成して削除対象のコードを手動で入力することができます。

既存の CSV ファイルを編集する場合は、削除対象のコードが含まれる行だけを残すようにファイルを更新する必要があります。

CMC の例（既存の CSV ファイル）

次の情報が含まれるファイルを取得し、CMC 5550、5551、および 5555 を削除するとします。

- 5550,Phil Jones DDS
- 5551,Southwest Shades
- 5552,Happy Pharmaceuticals
- 5553,Weddings by Joyce
- 5554,Peterson Plumbing
- 5555,Acme Toys
- 5556,Chicago Paralegals

エントリを削除するには、次のように削除対象のエントリだけをファイルに残します。

- 5550,Phil Jones DDS
- 5551,Southwest Shades
- 5555,Acme Toys

CMC の例（新規の CSV ファイル）

新規ファイルを作成してコードを削除する場合は、次のように各行にコードだけをリストします。

5550

5551

5555

FAC の例（既存の CSV ファイル）

次の情報が含まれるファイルを取得し、John、Dave、および Bill に割り当てられている認証コードを削除するとします。

- 1233,Sandy Brown,30
- 1234,John Smith,20
- 1235,Dave Green,30
- 1236,John David,20
- 1237,Alex Anderson,30
- 1238,Bill Jones,20
- 1239,Jennifer Summers,20

John、Dave、および Bill のエントリを削除するには、次のように削除対象のエントリだけをファイルに残します。

- 1234,John Smith,20
- 1235,Dave Green,30
- 1238,Bill Jones,20

FAC の例（新規の CSV ファイル）

新規ファイルを作成してコードを削除する場合は、次のように各行にコードだけをリストします。

1234

1235

1238

■ コードの設定の削除

複数のコードを一括して削除するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 次のタスクのいずれかを実行します。

- 削除対象のコード用に新規ファイルを作成する場合 (P.8-10 の「**CMC の例 (新規の CSV ファイル)**」および P.8-11 の「**FAC の例 (新規の CSV ファイル)**」を参照) は、CSV ファイルを BAT に挿入した後に、**ステップ 4 ～ステップ 11** を参照してください。
- 既存の CSV ファイルから既存のコードを削除する場合は、**ステップ 2 ～ステップ 11** を参照してください。

ステップ 2 パブリッシャ データベース サーバで、次のディレクトリを参照します。

- CMC の場合 : **C:\BATFiles\CMC\Insert**
- FAC の場合 : **C:\BATFiles\FAC\Insert**

ステップ 3 Notepad で既存の CSV ファイルを開いて編集し、エントリを削除します。

ステップ 4 CSV ファイルを保存し、パブリッシャ データベース サーバの次のディレクトリにコピーします。

- CMC の場合 : **C:\BATFiles\CMC\Delete**
- FAC の場合 : **C:\BATFiles\FAC\Delete**

ステップ 5 Client Matter Code (CMC) と Forced Authorization Code (FAC) のどちらを削除するかに応じて、BAT で次のオプションのいずれかを選択します。

- CMC の場合 : **Configure > Client Matter Codes**
- FAC の場合 : **Configure > Forced Authorization Codes**

ステップ 6 Client Matter Code (CMC) と Forced Authorization Code (FAC) のどちらを削除するかに応じて、次のオプションのいずれかを選択します。

- CMC の場合 : **Delete Client Matter Codes**
- FAC の場合 : **Delete Forced Authorization Codes**

ステップ 7 ドロップダウン リスト ボックスからカスタム ファイルを選択して、**Add to Query** をクリックします。

ステップ 8 システムによって削除されるレコードを表示するには、**View Query Result** をクリックします。ファイルに目的のレコードが含まれていない場合は、**Clear Query** をクリックして**ステップ 1**に戻ります。

ステップ 9 ファイルに削除対象のレコードが含まれている場合は、**Delete** をクリックします。

ステップ 10 確認のダイアログボックスに、処理の所要時間が表示されます。**OK** をクリックします。



ヒント

処理の進行状況を表示するには、**Show Latest Status** ボタンをクリックします。

ステップ 11 トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックしてログ ファイルを表示し、すべてのファイルが正常に追加されたかどうかを確認します。

CMC 用および FAC 用の CSV ファイルの設定値


次の各項と表 8-2 を併せて参照してください。

- BAT.xlt を使用した CSV ファイルの作成 (P.8-5)
- テキスト エディタを使用した Client Matter Codes および Forced Authorization Codes の CSV データ ファイルの作成 (P.8-7)
- 既存の CMC 用または FAC 用の CSV ファイルの編集 (P.8-8)
- コードの設定の削除 (P.8-10)

表 8-2 CMC および FAC の設定値

設定 / カラム	説明
For CMC CSV file (CMC 用 CSV ファイル)	
Client Matter Code	ユーザがコールを発信するときに入力する 16 桁以内の固有のコードを入力します。CMC は、このコードを使用するコールの CDR に表示されます。
Description	50 文字以内の名前を入力します。このフィールドでは & (アンパーサンド) も使用できます。このオプションのフィールドは、クライアント コードとクライアントの関連付けに役立ちます。
For FAC CSV File (FAC 用 CSV ファイル)	
Authorization Code	16 桁以内の固有の認証コードを入力します。ユーザは FAC 対応のルート パターンでコールを発信するときこのコードを入力します。

表 8-2 CMC および FAC の設定値（続き）

設定 / カラム	説明
Authorization Code Name	<p>50 文字以内の固有の名前を入力します。この認証コード名は、認証コードを特定のユーザまたはユーザのグループに結び付けます。この名前は、このコードを使用するコールの CDR に表示されます。</p> <p> ヒント システム内のすべてのユーザに認証コードを割り当てる場合は、コード名にユーザの識別情報を含めるようにしてください。この識別情報には、ユーザ名やその他の機密性のない固有の識別情報（たとえば、電子メールのエイリアス、社員番号、学生番号）などを使用してください。認証コード名は CDR に書き込まれ、安全でないため、社会保障番号などの識別情報は使用しないでください。</p>
Authorization Level	<p>0 ～ 255 の範囲内の 3 桁の認証レベルを入力します（デフォルトは 0）。認証コードに割り当てるレベルによって、ユーザが FAC 対応のルート パターンでコールをルーティングできるかどうかが決まります。コールを正常にルーティングするには、ユーザの認証レベルがそのコールのルートパターンに指定された認証レベル以上である必要があります。</p>

BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新

Cisco CallManager データベースを更新するには、BAT に CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを挿入する必要があります。データベースを更新するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco CallManager を更新する前に、CMC 用または FAC 用の CSV ファイルを作成または編集する必要があります。

手順

ステップ 1 CMC 用と FAC 用のどちらの CSV ファイルを使用したかに応じて、BAT で次のいずれかのオプションを選択します。

- CMC の場合 : **Configure > Client Matter Codes**
- FAC の場合 : **Configure > Forced Authorization Codes**

ステップ 2 CMC 用と FAC 用のどちらの CSV ファイルを使用したかに応じて、次のいずれかのオプションを選択します。

- CMC の場合 : **Insert Client Matter Codes**
- FAC の場合 : **Insert Forced Authorization Codes**

ステップ 3 **File Name** ドロップダウン リストボックスで、更新されたコードが含まれる CSV ファイルを選択します。



ヒント 挿入するファイルの内容を表示するには、**View File** をクリックします。

ステップ 4 既存のコードのリストを更新した場合は、[表 8-3](#) で説明されているように、**Override the existing configuration** チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 **Insert** をクリックします。

ステップ 6 確認のダイアログボックスに、処理の所要時間が表示されます。**OK** をクリックします。



ヒント


処理の進行状況を表示するには、**Show Latest Status** ボタンをクリックします。

ステップ 7 トランザクションが完了したら、**View Latest Log File** をクリックしてログファイルを表示し、すべてのファイルが正常に追加されたかどうかを確認します。

Cisco CallManager データベースを更新する場合の BAT の設定

P.8-16 の「BAT を使用した Cisco CallManager データベースの更新」と表 8-3 を併せて参照してください。

表 8-3 CSV ファイルを挿入する場合の BAT の設定

BAT の設定	説明
Field Name	ドロップダウン リストボックスから、挿入する CMC ファイルまたは FAC ファイルを選択します。
Override the existing configuration	<p>このチェックボックスは、既存の設定のコードを更新する場合に適用されます。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、既存の認証コード名 (FAC)、認証レベル (FAC)、または説明 (CMC) が、挿入するファイルに含まれている情報で上書きされます (既存の認証コードと CMC は変更されません)。このチェックボックスをオンにしないと、該当の認証コードまたは CMC がすでに存在することを示すエラーがログファイルに書き込まれ、更新は行われません。</p> <p> (注) Override the existing configuration チェックボックスをオンにした場合でも、更新されたファイルに含まれる新規コードは挿入されます。</p>